



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	株式会社ハマネツ静岡工場北棟	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	----------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1 / 5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	1.6 / 5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 / 5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.7 / 5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	3.1
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①対象外 ②対象外 ③対象外 ④鉄骨造 保有体力計算による	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内の緑地面積を20%以上確保した ⑥緑地の緑が敷地周囲に連続するような外構植栽計画を行った	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦対象外 ⑧対象外 ⑨LED照明の採用。 ⑩エネルギー消費に関する取り組みはなし	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪雨水及び雑排水の利用はなし ⑫新規のため既存建物等の利用はなし、又リサイクル材の使用もなし ⑬有害物質・消火材・断熱材は対象外、ODPなしの冷媒を使用	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取り組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭対象外 ⑮温熱環境悪化の改善への対策はなし	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)	得点	1.6
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた耐震性能	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	3.0
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱対象外	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲地域性・アメニティへの配慮に関する取り組みなし	Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)	得点	1.7
■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上) ⑲敷地周囲への緑地配置を20%以上の確保 ㉑上記に同様	Q-3 1 2 3 3.2	⑲ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ景観への配慮 ㉑ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑲温熱環境悪化の改善) ⑲温熱環境悪化の改善への対策はなし	LR-3 2 2.2	⑲ 温熱環境悪化の改善

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

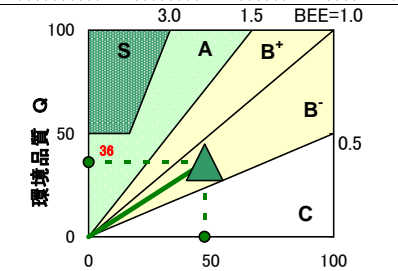
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	株式会社 ハマネツ 静岡工場 北棟	階数	地上1F		
建設地	静岡県袋井市諸井 3490 他34筆	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内(区分非設定)、法	平均居住人員	XX 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2020年2月5日		
敷地面積	27,032 m ²	作成者	米山 素文		
建築面積	3,472 m ²	確認日	2020年2月5日		
延床面積	3,328 m ²	確認者	米山 素文		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

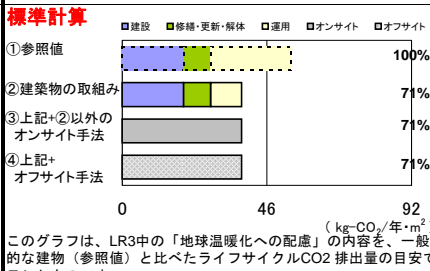
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

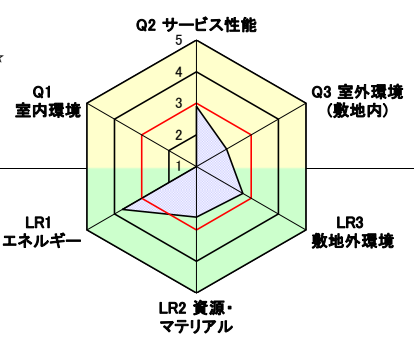
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

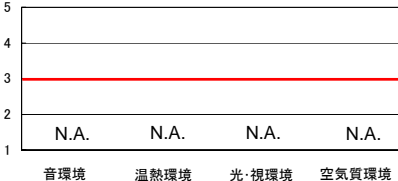


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

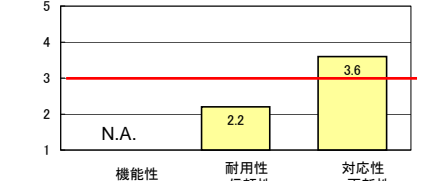
Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0




Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

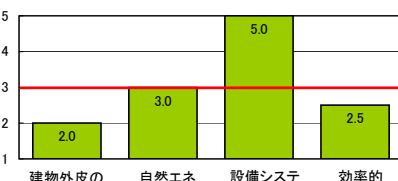


LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

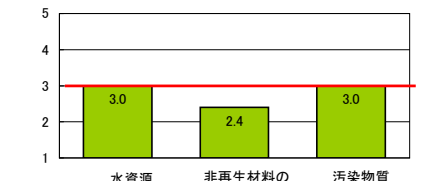
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7



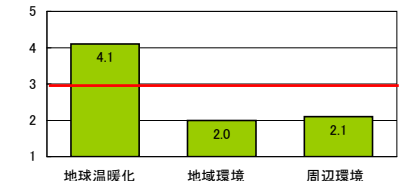
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
CASBEE静岡2016年版による評価結果	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
工場用途のため対象外	0	工場立地法に従い緑化を行う
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
0	0	0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい